

令和2年度予算 藤島地域まちづくり未来事業一覧

資料 2

No.	順位	事業名	事業内容	R2 予算内示額 (千円)	成果指標 (KPI)		
					初期値 2017年度	現状値 2018年度	目標値 2028年度
1. 豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現				5,025			
1	1	人と環境にやさしい農業推進事業	首都圏を中心とする消費者との交流を強化し、人と環境にやさしい農業の理解促進を図るとともに、新たな購買層や新規の使用団体を獲得し、有機農業者の生産意欲の喚起と取り組み者の拡大を図る。>首都圏イベントへの参加費用支援等、オーガニック・エコ産地拡大、GAP認証取得促進	1,321	農業収入1 千万円以上 の経営 体割合	14.9%	30.0%
2	2	藤島農産物元気事業	これまで取り組んできた「人と環境にやさしい農業」を次世代に繋げつために農業者が元気にやりがいを持って農業経営に取り組める環境を確立する。水稲、枝豆、ねぎ、加工、後継者支援の5項目を地域農業活性化重点事項として必要事業を実施。>農業者及び農業関係者で組織する「藤島農産物元気食楽部」への補助	1,825			
3	13	地域農産物加工推進事業	機能性野菜すいおうの加工品としての普及拡大を支援。>生産加工団体への補助	115			
4	14	地産地消推進事業	給食センターサンサンへ地産地消野菜を納入する団体を支援し、地産地消率の向上を図る。>納入団体への補助。エコタウンセンター保冷庫を活用した納入野菜の確保など	94			
5	15	次世代を担う子供たち食農体験事業	子どもたちが農業の未来に関心をもち、農業の魅力と地域への愛着を育む取り組みの実施。>藤島地域内の3小学校での田んぼの生き物調査の実施や有機米おにぎりの試食。	150			
6	8	庄内農業高等学校地域連携事業	実業高校としての特色ある取り組みや地元に着し地域を担う人材育成につながる取り組みを支援。>地域連携協議会への補助。食文化創造都市の魅力体験、地元就農・就職につなげる企業等での仕事体験、福祉団体と連携した交流農園活動など	800			
7	7	首都圏大学・農業農村マッチング事業	大東文化大学社会学部と連携した地域活性化の推進。>藤島をフィールドとした調査活動への連携・支援。学生による首都圏イベントやSNSでの藤島の情報発信(委託事業)	720			
2. 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進				8,018			
8	6	ふじの花のライトアップとイルミネーション等による魅力発信事業	ふじ棚のライトアップやオフシーズンのふじ棚などへのイルミネーション設置、地域協働の花壇定植活動などによる藤島地域の魅力発信を行う。>イルミネーション等の設置は委託事業	1,756	ふじ関連イ ベント・施 設入込数 21,615人	51,420人	36,800人
9	3	藤島歴史公園「Hisu 花」から始まる地域づくり事業	歴史公園を交流拠点とするためのワークショップの開催や開園5周年の周年事業の開催。>Hisu花ワークショップへの補助金の交付	300			
10	5	東田川文化記念館利活用事業	歴史的価値の理解を深め、住民が主体となって活用するためのソフト事業の展開。>郡役所シンポジウムの開催、郷土研究サークル支援など	376			
11	10	オープンカフェ用デッキ整備事業	歴史公園への飲食・休養の利用客で賑わいをつくるオープンカフェ用デッキの付随設備等の整備。>ガーデンテーブル・チェアの設置	380			
12	9	ふじ管理エキスパート養成支援事業	藤棚の育成管理団体の養成事業。>管理団体への補助。ふじの育成と管理技術習得のためのスキルアップ支援(補助金)と専門家への育成管理指導委託(委託事業)	500			
13	12	藤棚の整備事業	老朽化した藤棚の計画的な修繕。>ふじのまちにふさわしい環境整備。藤島体育館周辺の藤棚を計画的に修繕。	3,600			
14	20	ふじの里づくり事業	町内会案内掲示板の塗装修繕事業。>ふじのまちにふさわしい環境整備。全町内会分を計画的に修繕	138			
15	11	鶴岡伝統芸能祭開催事業	鶴岡各地の伝統芸能団体を招致しての伝統芸能祭の開催。>夏祭り実行委員への補助。	760			
16	19	お土産品開発事業	ふじの花を活用した藤島産のお土産品開発。>ふじの盆栽開発を実践できる団体への補助金交付	208			
3. 暮らしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築				2,463			
17	17	定住支援住環境等整備事業	各地域に対する宅地供給への取り組み。>各地域毎に定住支援推進会議を開催する	177	年間人口 減少率		
18	4	長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業	地域内への地域公共交通導入に向けた調査事業。>大東文化大学社会学部への委託。学生がゼミのカリキュラムの一環として2年間調査を実施し、R3導入を想定。	2,286	△1.9%	△1.7%	△1.5%
合計額				15,506			